

# 計測されたData-to-Everythingプラットフォームの価値

困難な環境で更なる価値を探索する

## Splunk®を利用してあらゆることにデータを活用することで、何千社ものお客様が更なるビジネス価値を迅速に獲得できることが証明されています

困難で移り変わりの激しい現在の経済環境において、あらゆる組織は効率性と利益の拡大を推進する投資とプロジェクトにさらに注力しています。特に標準化、単純化、自動化は最重要事項です。

方法やビジネスプロセスの標準化は単純化や統合を促進し、結果的に全体的な生産性が向上します。多くの企業は標準化と単純化を経て、自動化による大きなメリットを実現します。直接的なコスト削減に加え、従業員はより革新的な業務に注力でき、経済的に困難な時代において極めて重要な意味を持ちます。

Splunkの顧客価値ベンチマークは、サービスの近代化およびコストの最適化に向けたデータ主導の戦略を実践するSplunkのお客様が獲得可能な純利益の予測を示します。

### ハイライト

コスト重視の環境において、IT運用、アプリケーション開発、セキュリティのビジネス価値を推進します

- 従業員の生産性向上
- 迅速なイノベーションにより収益化加速
- 信頼性の高いサービス提供による優位性の確保
- 強力なサイバーセキュリティ対策によるリスク軽減

## Splunkが生み出す成果の測定

Splunkのお客様が獲得された価値の増大例		ベンチマークサンプル数	平均年間利益	
			収益が10億ドル未満の中小企業	収益が10億ドル以上の大規模企業
従業員の生産性	IT運用、DevOps、セキュリティチームがより価値の高い業務に従事した時間数	1,200件	18,000時間	42,000時間
収益の加速	重要ビジネスサービスの可用性向上と重要なリリースの市場投入時間短縮により獲得された収益	1,300件	110万ドル	260万ドル
リスクの軽減	データ侵害、知的財産の窃盗、不正行為のリスク軽減による削減コスト	460件	210万ドル	360万ドル
インフラストラクチャの効率化	未使用のシステム資源の割り当て改善に伴う稼働率の最適化	390件	47万ドル	96万ドル

利益は世界中のSplunkのお客様の個別の組織によって確認された価値の平均です。

Splunkのお客様が獲得されている価値には、重要なユースケースに関する効率の向上が含まれています。提供価値の要約を示します。

## ITインシデント対応



検出、トリアージ、調査、根本原因分析の迅速化

## インシデント回避



プロアクティブな監視による優先度の高いインシデントを削減

## 企業の信頼感



インシデント対応時間の短縮と発生件数の低減によるビジネスへの悪影響の軽減

## IT運用

主要なビジネスサービスの稼働時間の増大と組織内の効率化に向けたITの近代化

## セキュリティインシデント対応



検出、トリアージ、調査、修復の迅速化

## コンプライアンス管理



手作業によるコンプライアンスの測定とレポート作成時間の短縮

## 企業の信頼感



データ侵害、知的財産の窃盗、不正行為のリスク軽減

## セキュリティ

データに関するサイバーセキュリティ対策の近代化と強化によるビジネスリスクの軽減

## 高品質なリリース



リリース前アプリケーションの不具合特定と調査の迅速化

## 開発者の効率



アプリケーションインシデントの削減による開発者の作業中断の抑止

## ビジネスの適合性



新規や更新リリースの迅速化による価値向上

## DevOps

コードのリリースを迅速化し、アプリケーションのパフォーマンスと可用性を向上

このベンチマークの概要で示されている数字は、あくまで推定値です(Splunkソフトウェアおよびその導入にかかるコストは含まれていません)。ここに示されている数字は保証されるものではなく、実際の導入に応じて大きく異なる可能性があります。これらのベンチマークの数字は、SplunkのInteractive Value Assessment (IVA) に対するお客様の回答から算出したものです。過去7年間で4,000件を超えるIVAが実施されています。「Splunkが生み出す成果の測定」の作成は、IVAからテスト、不完全、およびテモのデータを排除し、評価の精査を行なっています。個々の情報から、それぞれのベンチマークに関連する価値要因を抽出しました。これらの価値要因とは、従業員の生産性、収益化の加速、リスクの軽減、インフラストラクチャの効率化です。このデータから、加重平均アプローチを使用して平均年間利益を算出しました。「価値を増加させる要因の数値範囲」では最近のIVAを参照しました。範囲の下限は大規模企業と中小企業の加重中央値を表し、範囲の上限は大規模企業と中小企業が報告した最も高い割合を表しています。

Splunkについて詳しくは、[https://www.splunk.com/ja\\_jp](https://www.splunk.com/ja_jp)をご覧ください。また、value assessmentをご要望される場合は [Splunkまでお知らせください](#)。



お問い合わせはこちら：[https://www.splunk.com/ja\\_jp/talk-to-sales.html](https://www.splunk.com/ja_jp/talk-to-sales.html)  
〒100-0004 千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング 8階

[www.splunk.com/ja\\_jp](http://www.splunk.com/ja_jp)  
[splunkjp@splunk.com](mailto:splunkjp@splunk.com)